

景気観測調査モニター事業所

ご担当者各位

岡山商工会議所

令和4年4～6月期

## 景気観測調査の結果について（ご報告）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご協力を頂いております標記調査について結果を取りまとめましたので、下記のとおり報告させていただきます。

記

### 1. 調査概要

- ・調査対象：県下商工会議所会員企業 574 社
- ・調査時期：6/1～6/15
- ・有効回答数：529 社（回収率 92.2%）

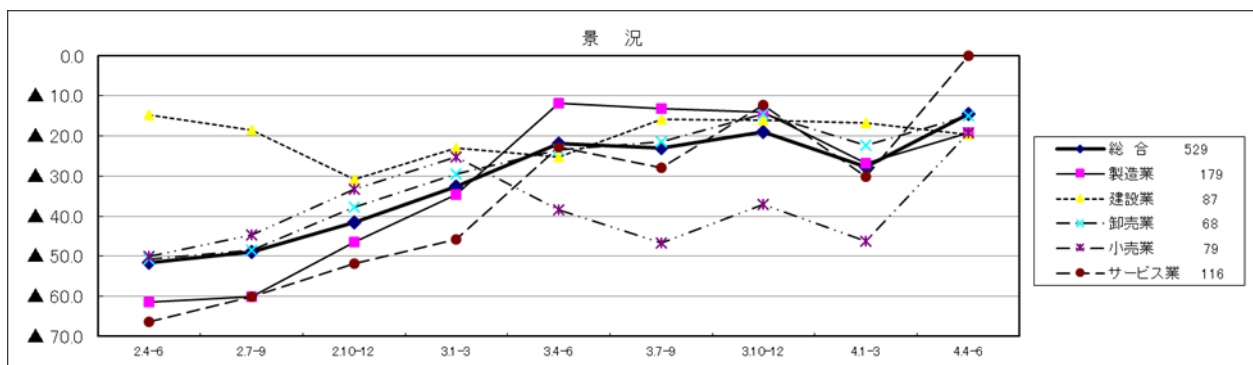
### 2. 令和4年4～6期「景況概要」

「経済活動の本格化で景況DIは2期ぶりに改善するものの、仕入価格の上昇に歯止めかからず」

景況全体では、前年同期（令和3年4～6月）と比べて、「好転」から「悪化」を差し引いた総合DI値は▲14.5となり、前期に比べ13.2ポイントマイナス幅が縮小し、2期ぶりの改善となった。比較対象となっている前年同期に緊急事態宣言が発令されていたことに対し、今期については経済活動が本格化してきたことが要因と考えられる。しかしながら、ウクライナ情勢や円安を背景に、仕入価格の上昇が2期続けて調査開始以来最悪を記録するなど幅広い産業に影響を与えている。価格転嫁の広がりは一定程度認められるものの、今後の新型コロナの感染状況も注視が必要であることから、地域経済の先行きは予断を許さないと考えている。

※DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

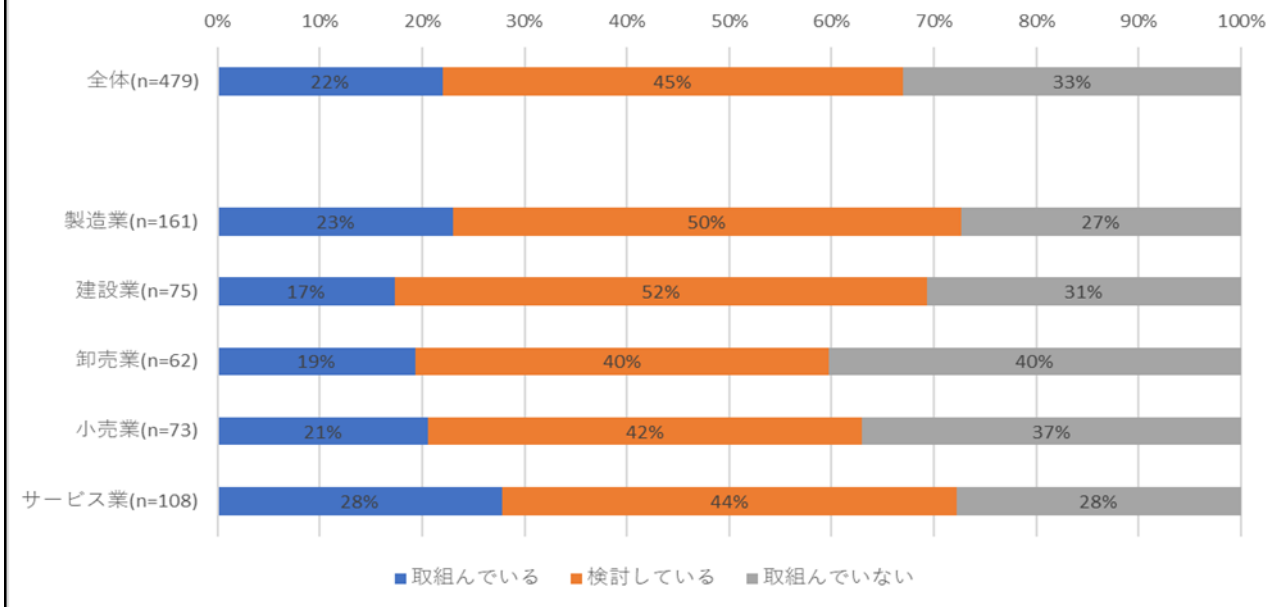
DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)



景況	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6	3.7-9	3.10-12	4.1-3	4.4-6	今期-前期	
総合	529	▲51.7	▲49.0	▲41.6	▲32.6	▲21.8	▲22.9	▲19.0	▲27.7	▲14.5	13.2
製造業	179	▲61.4	▲60.1	▲46.4	▲34.6	▲11.7	▲13.1	▲14.0	▲26.7	▲19.1	7.6
建設業	87	▲14.8	▲18.5	▲30.8	▲23.1	▲25.3	▲15.7	▲16.1	▲16.7	▲19.5	2.8
卸売業	68	▲50.7	▲48.5	▲37.7	▲29.4	▲23.5	▲21.4	▲14.5	▲22.4	▲14.9	7.5
小売業	79	▲50.0	▲44.7	▲33.3	▲25.3	▲38.5	▲46.8	▲37.0	▲46.2	▲19.2	27.0
サービス業	116	▲66.4	▲60.0	▲51.9	▲45.7	▲22.7	▲27.8	▲12.3	▲30.1	0.0	30.1

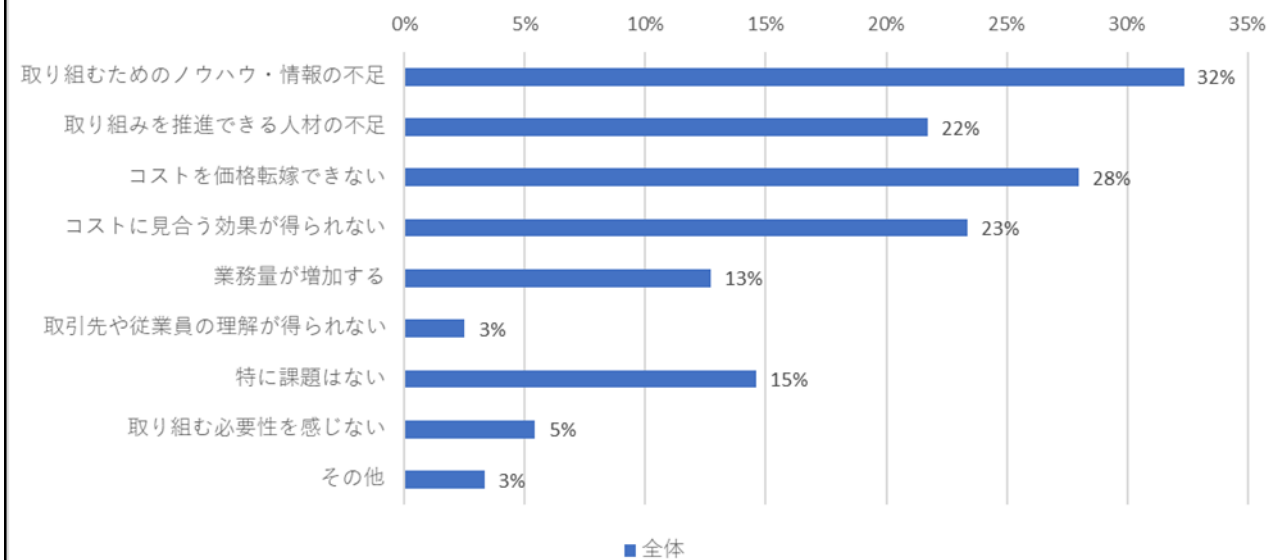
### 3. 付帯調査：カーボンニュートラルに向けた取り組みについて

【図表1】 省エネ・温室効果ガス排出削減等の取り組み状況について

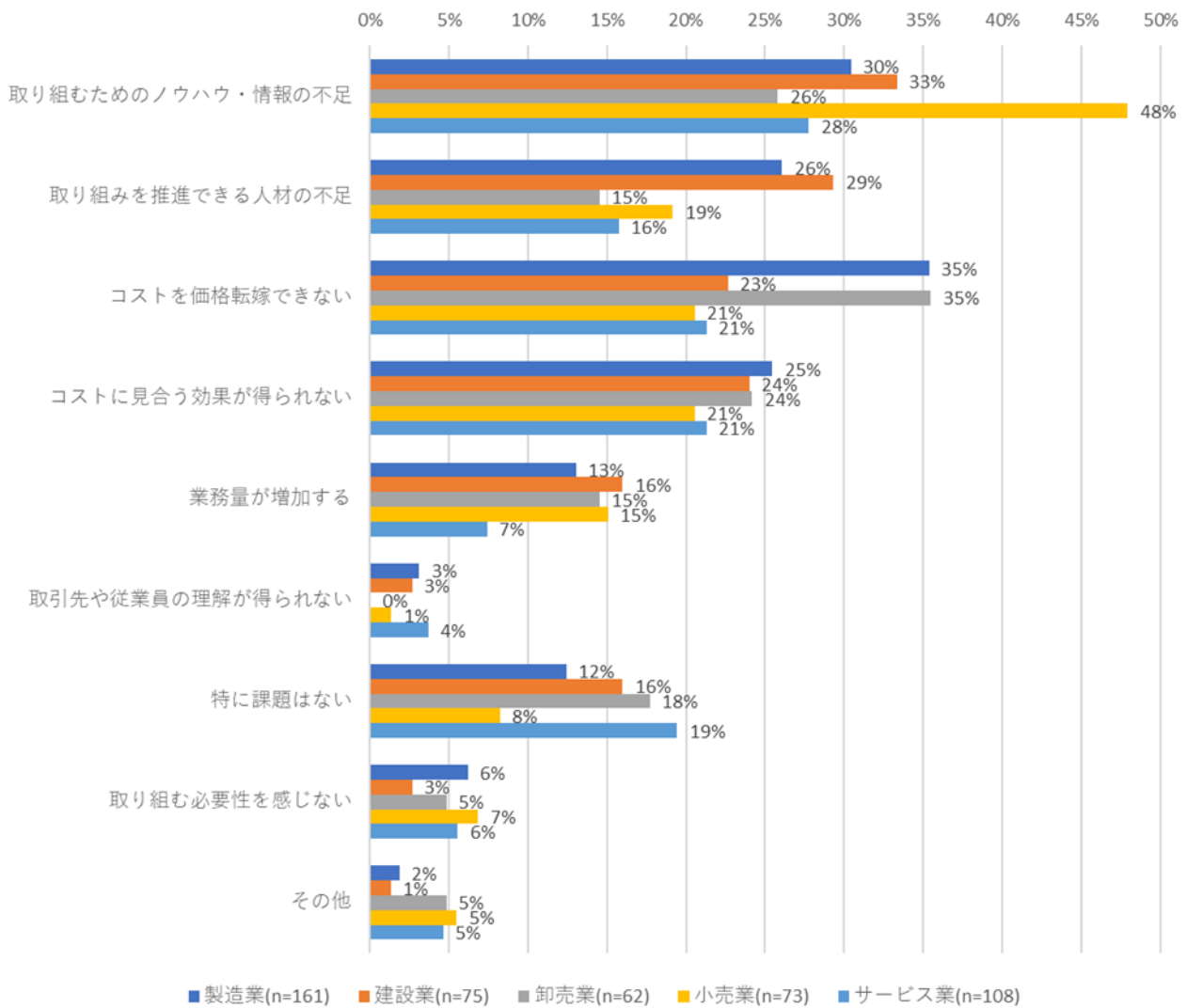


【省エネ・温室効果ガス排出削減等の取り組みへの課題について（複数回答）】

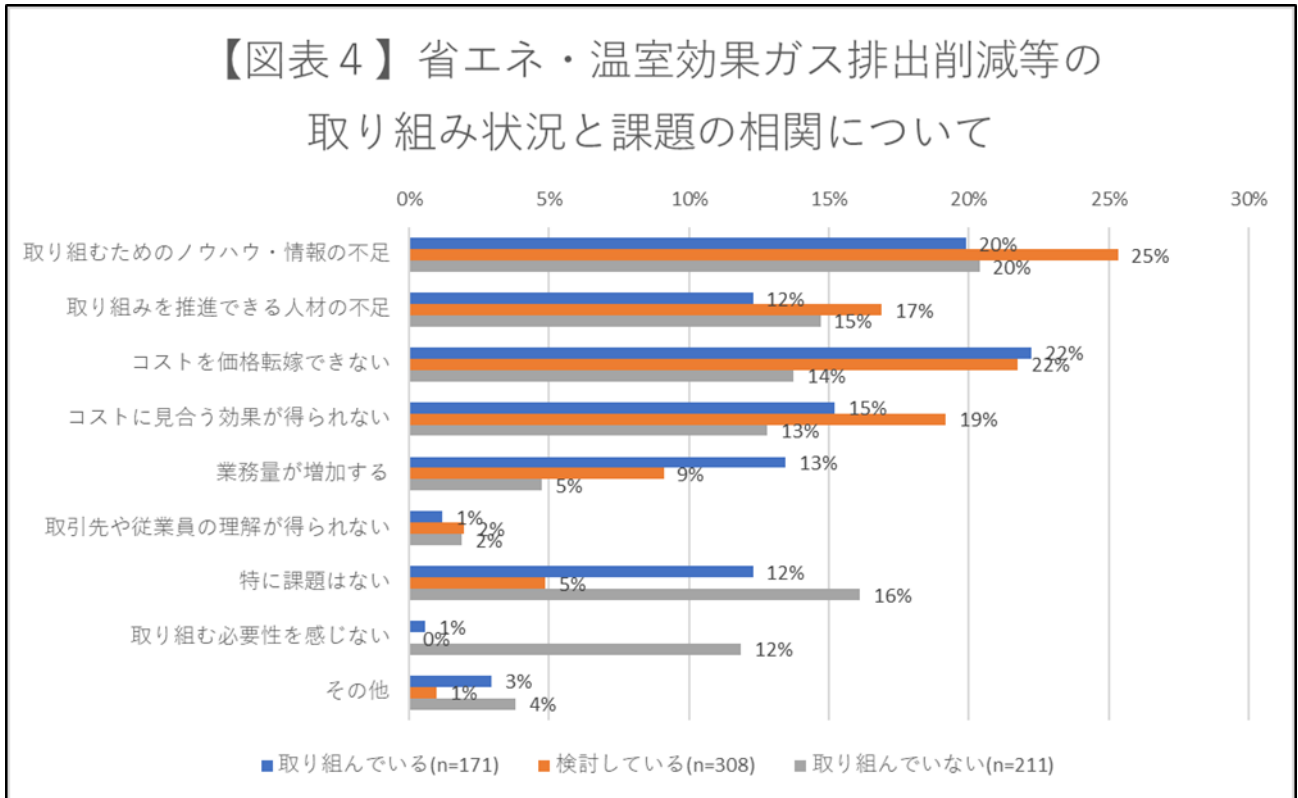
【図表2】 省エネ・温室効果ガス排出削減等の取り組みへの課題について（全体）



【図表3】 省エネ・温室効果ガス排出削減等の  
取り組みへの課題について（業種別）



【省エネ・温室効果ガス排出削減等の取り組み状況と課題の相関について】



景気観測調査の詳細は当所HPに掲載しています。

HP内の検索バーから「景気観測調査」と入力してご確認ください。

本件担当：岡山商工会議所 企画推進課（綾野） TEL.086-232-2262 FAX.086-225-3561